

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年度九月 入賞句一覽 投句数 八百八十六句



特選

名和 よちる 選

夏終るまだまだマスク続くけど 大垣市 入山 結月(小五)

世界中が恐ろしいコロナと戦って三年目を迎えます。夏が終わるといいうのにコロナ感染防止のため、場所によつてはまだまだマスクが強制されています。マスクは冬の季語ですが、コロナのマスクに注目してうまく表現されています。するどい視線で世の中をよく観察しています。一日も早くマスクを外せる日がくるといいですね。

赤い橋青葉かなでる葉のうたよ 大垣市 官脇 希実(小六)

水門川にかかる赤い橋のことですね。桜の花も終わって木々はすっかり青葉に変わりました。やわらかな風が吹いてきて葉擦れの音が聞こえてきます。「青葉かなでる」の表現が美しく良いですね。さらに下五で「葉のうたよ」と呼びかけて、最後の「よ」がとても効果的です。さわやかな句となりました。

グーグルのゴムひきしめてクロールだ 大垣市 子安 明香(小三)

グーグルのひもをぎゅつとしめて「さあがんばるぞ」という意気込みがよく伝わって来ます。クロールのタイムをちぢめることも、距離を延ばすことも、日々の練習は裏切りません。きつと良い成果が出たのではないのでしょうか。グーグルのゴムに焦点を当てて句がぐつとひきしまりました。

秀逸

朝蜘蛛だ今日はいいいことありそうだ 大垣市 安藤 純矢(小六)

教室の窓一面の入道雲 大垣市 多賀 千夏(中三)

柿色の空へ昇る薄三日月 加茂郡川辺町 西垣 陽翔(中二)

夕やけは昼のゴール夜のスタート 加茂郡川辺町 佐伯 美月葵(中二)

ひまわりが顔を上げると言っている 加茂郡川辺町 細江 華由(中二)

セミの声黙禱の中ミンミンと 加茂郡川辺町 前川 慧伍(中二)

君の笑顔僕の心も金魚色 加茂郡川辺町 羽根 美葉(中三)

ばあちゃんが斜めに歩きスイカ持つ 加茂郡川辺町 則武 怜那(中三)

高架下一人ぼつちのタンポポ一つ 加茂郡川辺町 神谷 祐香(中三)

ふうりんがいつものかぜをメロディに 大垣市 かきち りほ(小二)

入選

小中学生の部

信長のぎふじょうきれい夏の山

新潟県上越市

松田 八重(小四)

夏の空まばゆい光に目をほそめ

大垣市

後藤 真弦(小六)

万緑の中に囲まれ俳句かく

大垣市

石黒 寧琉(小六)

ばんりよくの中で休けい生き返る

大垣市

北村 真衣(小六)

なつのよはひやくものがたりさむくなる

大垣市

大橋 ひかる(小六)

柿の花太陽あびて育つてく

大垣市

宇野 壮真(小六)

ちゆるるんとあまくてつめたい水まんじゅう

愛知県尾張旭市

阪上 みゆ(中二)

夏休みノート一さつ自主学习

大垣市

陸田 篤希(小四)

夏祭りたいこの音が腹にくる

加茂郡川辺町

藤井 結乃(中二)

いわし雲空つぽな空うめていく

加茂郡川辺町

小田 憩(中二)

グラウンドじりじりこがす炎天下

加茂郡川辺町

栗本 愛佳(中二)

息を吸い染まる私は夏色に

加茂郡川辺町

渡辺 かずは(中二)

すずしげなすすきをバツクに見る夜空

加茂郡川辺町

田原 真衣(中三)

夏祭り一人ボツチで見る花火

加茂郡川辺町

松山 篤志(中三)

終わり近しせみの転がる散歩道

加茂郡川辺町

後藤 飛侶(中三)

仰向けのばたつく蟬に応援歌

加茂郡川辺町

丹羽 悠二郎(中三)

ゴロゴロとかみなりたちが大げんか

大垣市

伊藤 蓮人(小四)

さといもをみそしる入れてやわらかく

大垣市

安田 こう太ろう(小三)

いちようはひらひらおちてほしみたい

大垣市

横幕 陽奈(小三)

ハロウィンでコウモリミイラかそうする

大垣市

小西 滴来(小三)

選者吟

ダ・ヴィンチに見ゆる木目の夜長かな

よちゑ

